

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70063
事業名	市立幼稚園預かり保育費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教職員課			電話番号	011-211-3892
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	・待機児童対策の一端を担い、子育ての支援を充実するため、平成26年10月から市立幼稚園9園で実施。 ・令和元年施行「幼児教育の無償化」や女性の社会進出、就労形態の変化等から保育ニーズが高まり、事業実施当初に比べて利用人数が増加している。 ・幼児教育・保育については量の拡大から質の向上への転換を図ると国が示しており、保育内容の充実や家庭の教育力向上を含めた子育ての支援を行うため、市立幼稚園に在園する保護者が、預かり保育を利用しながら安心して子育てができる環境づくりが必要である。
	事業内容(何を実施し)	・市立幼稚園において就労等、様々な家庭の状況に対応した在園児の預かり保育を実施 ・実施日 月～金(通常保育日198日、長期休業日39日) ・利用時間 平日 8:00～9:00及び教育時間終了後～18:00 長期休業日 8:00～18:00 ・利用定員 1日25名 ・保育内容や園と保護者が連携した子育ての在り方等について研究し、その成果を市内幼児教育施設や保護者に発信。 ・2022年度までは、預かり保育士を各園2名配置。2024年度末に閉園する幼稚園の教諭数が減ることに伴い、預かり保育の質を担保するため、2023年度と2024年度は閉園する4園に預かり保育士を各1名増員。 ・延べ利用人数 13,844名
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	保護者がいつでも預かり保育を利用でき、安心して子育てができる環境を整えたい。
	他都市の状況	・札幌市内の私立幼稚園及び幼稚園型認定こども園73園で一時預かり事業(幼稚園型)を実施している。保育業務は預かり保育担当職員やパート保育士が従事している。 ・政令指定都市のうち、市立幼稚園があるのは札幌市を含めて12都市。うち預かり保育を実施しているのは9都市。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	60,000 千円	うち特定財源	31,816 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度決算額	54,082 千円	うち特定財源	27,685 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和6年度予算額	73,000 千円	うち特定財源	24,115 千円	正規職員業務量	0.4 人工

指標	アウトプット活動指標1	保護者や市民に対する預かり保育や子育てに関する情報発		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	2	2	5	6	8
	↓						
	アウトカム成果指標1	安心して預かり保育を利用することができると感じる家庭の割		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		—	当初値56.6%	56.60%	65.00%	75.00%	85.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	預かり保育は要件を問わずどの家庭も利用可能であるが、就労等による利用家庭とそれ以外では利用頻度が異なり評価が二極化。適切な広報や利用手続きの簡素化等、利便性の向上に向けて検討する。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	在園家庭へ利用方法や預かり保育内容、子育てのヒントとなるような発信物を作成。預かり保育士研修の新設。R5に引き続き、閉園する4園に預かり保育士を3名配置。
来年度以降の方向性	・市立幼稚園の再編に伴い、実施園は9園から5園に縮小。 ・保育の質と子育ての支援の充実を図るため、各園に3名ずつ保育士を配置。